

つ の い 基 議 会 報 告



第102号 発行者 角井 基 横須賀市佐野町4丁目14 E-mail motoi-ofc@jcom.home.ne.jp

上地市長が再選。2期目に期待

コロナワクチンの接種は順調に進む

6月2日から18日までの6月定例議会の他、毎月のように臨時議会が開かれました。引き続き、感染防止関連の審査が多く、議会から市への要望や質問を整理して行っている「コロナ対策協議会」も頻りに開かれています。6月27日には、市長選挙が行われ、コロナ禍で市民の関心も低く、投票率は33%となりましたが、上地市長が再選を果たしました。今の厳しい状況をどう乗り越えていくのか、市長の2期目に期待されます。

10月に全市民の接種終える見込み

本市では5月からワクチン接種が始まりました。現状の試算では、7月中には65歳以上の接種を終え、接種率7割と想定して希望する全市民の接種を10月には終える見込みとしています。当初は、接種への不安や疑問が多くあり、

低所得の子育て世帯に

児童1人8万円を給付
国は、コロナ禍で子どもの食費等の負担が大きい低所得

フェリー就航で港運事業者と協議

都市整備常任委員会では、本市と北九州とを結ぶフェリー就航に関わる住民や港運事業者との対応について、3月定例議会以降の経過が報告されました。まず、新港埠頭近隣の住民からの陳情が了承され、その後、外部委託による調査を行った報告がありました。

交通渋滞については、フェリーの乗下船車両の多い時間帯においても、朝夕の渋滞ピーク時を越えることはない。騒音などの

子育て世帯に、児童1人につき5万円の給付を決め

4月13日の臨時議会では、市独自でそれに3万円を上乗せし、8万円とすることが決まりました。

対象となる児童は約1万人

で、8億円余が計上されました。財源は、市独自部分も国からのコロナ対策交付金が充てられます。

環境問題については、大型車の

車路走行時の徐行などによって県の基準をクリアできる、等が示されました。これらは、3月に設置された周辺町内会等との協議会で説明されています。

また、港湾計画の変更なしに埠頭の一部をフェリーターミナ

ワクチン接種の予約で

開始時にトラブルが発生
5月10日から80歳以上のワクチン接種の予約が始まりましたが、沢山の市民が一斉にアクセスしたため、電話やネット予約がなかなか繋がらず、多くの苦情が寄せられました。

システム上の不具合もあり、幾度かの改修が行われましたが、結果的には、予約の一斉スタートを変更し、接種券が届き次第の予約に改めて、トラブルが解消されました。

自宅療養への支援を強化

5月24日の臨時議会では、新型コロナウイルスに感染して、自宅療養している方の支援を強化し、重症化や病床の逼迫を防ぐために1億円余が計上されました。それまで県が行っていた業務を市に移管し、地元の訪問看護ステーションに移すものです。

また、6月から自衛隊の「東京大規模接種センター」でのワクチン接種が行われる



毎月1日の夜、空に光線が照射されます
「平和中央公園」と名称を変更し、新しい平和モニュメントが完成

新たな議会人事が決まる

5月13日には議会が招集され、来年4月末までを会期とする通年議会が始まりました。新たな議会人事が決まり、議長には自民党の大野議員、副議長にはよこすか未来会議から伊関議員、広域水道企業団議会議員には自民党の松岡議員、議会選出の監査委員には自民党の加藤議員、公明党の石山議員がそれぞれ選ばれました。私は教育福祉常任委員会の所属となりました。

また、6月から自衛隊の「東京大規模接種センター」でのワクチン接種が行われる

芦名漁港の無許可工事などで厳しい指摘

芦名漁港における消波ブロックの無許可移設や海面の不法使用などが3月定例議会で問題となりましたが、教育福祉常任委員会では教育委員会からその後の経過について報告されました。

県指定の天然記念物の区域内に無許可で魚礁兼消波堤が設置されたことに県から許可が下りたとのことです。

地元の大楠漁協が4月に県の教育委員会に現状変更等の許可



小林議員の質問で議会で提出された資料より

申請を行い、それが条件付きで許可されました。条件は、①海洋環境への影響を把握するためのモニタリング調査を行うこと。②その調査結果で、将来にわたる支障のないことが確認された後に許可の効力

が生じること、③許可の効力が生じた場合も、モニタリング調査は3年間継続すること、とされています。

常任委員会では、工事の行われることを覚知しつつ、県教育委員会への報告が遅れた点が指摘されました。

また、都市整備常任委員会では、みなと振興部から消波ブロックの無許可移設などへの対応について経過が報告されました。

消波ブロックについては、現状回復に着手しており、一部の防波堤消波ブロックについては、他の防波堤に移設する方針となっています。

マリーナ事業者が設置した浮桟橋については、一部で水域占

田浦青少年自然の家を廃止へ

今後は、キャンプ場のみ使用に

教育福祉常任委員会では、田浦青少年自然の家の廃止が報告されました。開設後35年を経て、建物の経年劣化が進んでいますが、利用者が少なく、それに比して運営費が過大であるため、2年後の3月で廃止されることになりました。

キャンプサイトは、そのまま残され、キャンプ場としての利用はできるようにすることです。テントや鍋・飯ごうなどの備品は何らかの形で使える策を考えるとのことです。現在使用している青少年団体とも相談していくとのことでした。

管理棟や集会室などは解体されますが、トイレ・水場・

田浦梅の里、青少年自然の家、一帯の山林は、私が市役

所に就職する直前に、市に寄附されたもので、その山林をどのように活用するか考えるのが新人研修の課題でした。当時は何もなかった山の中を全員で歩き、グループごとに話し合っ

て案を練ったことが懐かしく思い出されます。キャンプ場などの提案が多く、それをもとに青少年自然の家が造られたのだと思います。

田浦梅の里、青少年自然の家、一帯の山林は、私が市役

所に就職する直前に、市に寄附されたもので、その山林をどのように活用するか考えるのが新人研修の課題でした。

田浦梅の里、青少年自然の家、一帯の山林は、私が市役



用が許可され、過剰金の徴収もされています。しかし、鋼管杭の撤去はされておらず、申請手続き中ではあるものの、市からの指導が続いている状態にあります。

市では、引き続きしっかり指導し、工事の際の事前連絡など再発防止に努めるとしています。

が、委員会では、無許可でこのような工事が行われたこと自体が考えられないとして、市の対応を問いつつ厳しい意見が出されました。

芸術劇場の天井改修で概算11億円

本市では、高さ6m超・面積200㎡以上・重さ2kg/㎡以上の「特定天井」について、順次改修工事が行われています。芸術劇場も完成して27年が経って改修工事が必要となっており、7年前には技術基準が設定されて、落下防止装置などが義務づけられています。

大ホールは形状が複雑であるため、天井の改修には、調査から改修工事まで概ね5〜6年の期間を要するため、本市では3年後から大ホールの改修工事を予定し、それに向けてこの2年間は事前調査が行われました。その結果を踏まえ、今年度から来年度にかけて改修工事の設計を行うため、3千万円余の補正予算が計上されました。

今後は、詳細設計を経て、改修工事に入り工期は2年間とされています。

大ホールは形状が複雑であるため、天井の改修には、調査から改修工事まで概ね5〜6年の期間を要するため、本市では3年後から大ホールの改修工事を予定し、それに向けてこの2年間は事前調査が行われました。



総務常任委員会では、コロナ禍で困窮している店舗を支援する「地元のお店応援券」の実施結果について報告がありました。すべての業種を対象とし、地元のお店応援券 プレミアム率 25%で、発行総額は22億円

でした。利用結果は、金額ベースで、スーパーが37%、ドラッグストア・調剤薬局が13%、飲食店10%、飲食料品店7%、大型商業施設5%、などとなって

います。実施店舗に対するアンケートでは、売上げが増えた(13%)、やや増えた(34%)で、半数で効果のあったことが分かりました。購入者へのアンケートでは、肯定的な意見が6割を占めています。

この取り組みによる消費総額は24億円で、経済波及効果は8億円余であったと算出されています。予算は6億円余でした。

代表28名の事前キャンプが行われます。7月10〜24日で、練習は横須賀学院高校、19日にはサブアリーナで公開練習(柔道関係者のみ)が行われます。横須賀学院の在校生が参加してのオンライン交流会も開かれます。

また、イスラエル柔道チームは、感染防止対策から男女別々の滞在となって、宿泊日数が倍に増え、ホテルでの一般客との接触回避のため1フロアの借り上げや食事会場の確保も必要で、1千万円余が補正予算で増額されました。ただし、全額が国・県からの補助です。この補正予算には、共産党などがコロナ禍でのオリンピックそのものに反対する立場から反対しました。

8月15日には、パラリンピックの聖火の元となる火を作ります。本市での採火式が行われます。採火方法や場所は、参加者の意見を聞いて協議されます。

イスラエル柔道チームが本市で事前キャンプ

総務常任委員会では、東京オリンピックに向けた本市の取り組みについて報告がありました。

6月29日には、うみかぜ公園から芸術劇場まで聖火リレーが行われる予定でしたが、県の決定により中止となりました。

本市では、イスラエルの柔道

代表28名の事前キャンプが行われます。

練習は横須賀学院高校、19日にはサブアリーナで公開練習(柔道関係者のみ)が行われます。

また、イスラエル柔道チームは、感染防止対策から男女別々の滞在となって、宿泊日数が倍に増え、ホテルでの一般客との接触回避のため1フロアの借り上げや食事会場の確保も必要で、1千万円余が補正予算で増額されました。

この補正予算には、共産党などがコロナ禍でのオリンピックそのものに反対する立場から反対しました。

8月15日には、パラリンピックの聖火の元となる火を作ります。

本市での採火式が行われます。採火方法や場所は、参加者の意見を聞いて協議されます。